

2015年9月吉日

半田山クラブ会員の皆様

半田山クラブ会長就任あいさつ

S 52 年卒 三垣公彦

今年8月、例年正月に行っていました半田山クラブ総会及び初蹴り会を、より集まりやすい日程にと夏に変更し行われました今年度総会の場で、会長交代案が提起承認され、新たに会長を引き継ぐこととなりました。

前会長・奥田浩一氏におかれましては、在任時65周年記念大会の開催やクラブ総会の日程変更など、クラブ活性化に向け着実な成果を収められ、会長続投は必然と思われていた中での突然のご指名であり、とまどうところ多ではありますが、今後も長く長く続くであろう半田山クラブの歴史という襷は、誰かが受け継いでいかねばならず、力足らずは承知の上で引き受けさせていただきました。

ところで、皆様既にご承知の通り、岡山大学サッカー部は今年試練の時を迎えています。

3月の事案発生以来、一時は部の存立自体が危ぶまれる事態となりましたが、部員一同の真摯な努力と、関係各位により半田山クラブ会員の皆様の力強いサポートもあり、7月以降無事活動を再開させることができました。

サッカー部サポートを最大の目的として設立されました当クラブとしましては、今は何よりも、皆様の歴史も詰まったサッカーグラウンドに、部員たちの笑顔がはじける日々が続くことを願うばかりです。今後とも皆様のご支援をお願いします。

もう一点、今回の役員交代の大きな変更点となったのが、役員メンバーの若返りです。長年にわたりクラブをお支えいただいた（そして今後もお支えいただく）奥田浩一会長・尾崎健治副会長（岡山県サッカー協会専務理事）・河田哲典岡山大学サッカー部部長兼監督の三氏が顧問となられ、新たに岩佐定彦・山本和明・角南哲司三名を新幹事とさせていただきました。いずれも50代前半の働き盛り年代です。

これにより、新たな半田山クラブ役員は20代の堀格郎幹事から60代の私まで、各年代からバランスよく選出される結果となりました。

私を筆頭に経験不足が否めないメンバー構成ではありますが、その分何事にも囚われない新たな発想で、いきなりの難局に挑みたいと考えています。

会員各位の厳しいご指摘をお待ちしつつ、まずはご挨拶とさせていただきます。